

令和3年度

工 事 監 査 報 告 書

袖ヶ浦市監査委員

目 次

第1 監査の概要.....	1
1 監査の対象.....	1
2 監査の着眼点.....	1
3 監査の主な実施内容.....	1
4 監査の実施場所及び期間.....	1
5 工事の概要.....	1
第2 監査の結果.....	3
1 総合評価.....	3
2 推奨事項.....	3
3 提言事項.....	3

監査結果報告

第1 監査の概要

袖ヶ浦市監査基準及び全国都市監査委員会の都市監査基準に準拠して、地方自治法第199条第1項及び第4項による定期監査の一環として、工事監査を次のとおり実施した。

なお、全国都市監査委員会は、監査委員制度の円滑な運営と健全な発展を図ることを目的とした全国の市等の監査委員で構成される組織であり、監査委員が監査等を実施する際によるべき基本事項等を規定した都市監査基準を定めている。

1 監査の対象

建築工事（袖ヶ浦市立奈良輪小学校施設整備及び保守点検等事業）

2 監査の着眼点

市が発注した工事について、計画、設計、積算、契約、施工、監理等が適切であるか、また、効率的かつ経済的に実施されているかについて、技術的側面を主眼に監査を実施した。

3 監査の主な実施内容

工事監査は工事技術に関する専門的知識を必要とするため、特定非営利活動法人建設技術監査センターと業務委託契約を締結し、関係書類の調査及び袖ヶ浦市監査委員立会いのもと調査員（技術士）と工事関係者（工事担当課、施工業者）との面談、質疑応答及び工事現場の施工状況の確認を実施した。

4 監査の実施日

令和4年2月2日（水）

5 監査の実施場所

袖ヶ浦市立奈良輪小学校増築校舎

6 工事の概要

袖ヶ浦市立奈良輪小学校は、袖ヶ浦駅前地区の人口増加を受け、児童数が増加し

ており、教室の不足が見込まれることから、増築校舎を取得整備するものである。

- (1) 工事名称 袖ヶ浦市立奈良輪小学校施設整備及び保守点検等事業
- (2) 工事場所 袖ヶ浦市奈良輪425番地1他
(袖ヶ浦市立奈良輪小学校敷地内)
- (3) 工事内容 増築校舎 鉄骨造2階建
建築面積 1645.08 m² 延床面積 3180.58 m²
渡り廊下 鉄骨造
建築面積 51.84 m²
- (4) 発注方式 公募型プロポーザル方式
- (5) 受注業者 大和リース株式会社 千葉支店
- (6) 契約金額 757,414,000 円 (消費税含む)
- (7) 事業期間 令和2年9月18日から令和16年3月31日まで

第2 監査の結果

本事業について、特定非営利活動法人建設技術監査センターから提出された工事監査技術調査結果報告書を基に総合的に判断した結果、経済性、効率性及び有効性については良好であると認められた。

なお、工事技術調査結果報告書で推奨又は提言のあった事項については、今後行われる工事の実施に際して十分に留意されたい。

以下は、特定非営利活動法人建設技術監査センターから提出された工事監査技術調査結果報告書の抜粋である。

1 総合評価

技術調査の結果は全体的には良好であると評価する。

2 推奨事項

(1) 公募型プロポーザル方式による業者選定

当該施設の建設にあたり、設計・施工・工事監理及び竣工12年間の施設の保守点検業務の一部を実施する事業者を公募型プロポーザル方式により選定したことは、価格のみではなく、児童の安全性や、より良い学習環境の実現に有効であったと評価する。実施にあたっては客観的な実施要領と審査基準を提示し、事業者としての組織力やこれまでの経験、技術を含めた審査を行い、適切な事業者を公平に選定できたことは推奨に値する。

(2) 重量鉄骨造の採用

要求水準の軽量鉄骨造を重量鉄骨造に変更したことにより、機械・電気設備の施工スペース・メンテナンススペースを十分確保できた。若干工事費が高くなっても、竣工後の保守点検や設備資機材の更新工事が容易になりライフサイクルベースでは割安になる。将来の拡張性も十分に保たれる。初期建設費のみで判断するのではなくライフサイクルでのメリットを考慮した判断は推奨に値する。

3 提言事項

(1) 長寿命化計画（個別施設計画）の策定

建築物の長寿命化を図るためには、不具合が生じる前に修繕・更新を行う「予防保全」の視点に立った、計画的な維持保全を行うことが必要とされていることから、当該施設の長寿命化計画（個別施設計画）の策定を推奨する。

(2) 換気設備の結露・雨水侵入対策の徹底

現状の仕様において頻度は高くないが、台風時の雨水侵入、あるいは外気温が

低い場合に外壁近くの排気ダクトに結露発生の可能性が有る。

台風時の雨水侵入防止のためには、外壁ベントキャップの計上は横殴りの雨でも雨水侵入を防ぐ「深型ベントキャップ」が望ましい。

結露防止のためには、排気ダクトの外壁から 1mまでは結露防止用の保温材を巻くことが望ましい。